

2012年1月24日から2017年11月27日までに岡山大学病院消化管外科の外来または病棟で、

「臨床研究：肝転移を有するKRAS野生型の切除不能・進行再発大腸癌に対する1次治療としてのTS-1+Oxaliplatin+Panitumumab併用療法の有効性、安全性を検証する第Ⅱ相試験参加者の血液および切除標本を用いた薬剤効果予測因子の解析」に参加されました5名の患者様のご親族のみなさまへ。

岡山大学病院での「臨床研究：肝転移を有するKRAS野生型の切除不能・進行再発大腸癌に対する1次治療としてのTS-1+Oxaliplatin+Panitumumab併用療法の有効性、安全性を検証する第Ⅱ相試験参加者の血液および切除標本を用いた薬剤効果予測因子の解析」は試験終了となりました。

しかしながら、本研究内容の継続を、今後、川崎医科大学臨床腫瘍学教室にて行い、参加者に供与いただきました、貴重な試料（血液、腫瘍組織）の解析を継続し、他の同様の試験または研究にて得られたデータと併せて解析を行う予定です。

川崎医科大学に提供・供与予定の試料は匿名化されており、川崎医科大学では、個人を同定することはできません。従いまして、川崎医科大学での研究結果も個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化管外科
(低侵襲治療センター)

職名：助教 氏名：重安 邦俊

電話：086-235-7257